

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

発作性心房細動に対するベラパミル使用後の再発率に関する検討

2. 研究の対象患者

2013年4月から2018年2月までの期間に当院救急外来で発作性心房細動と診断されベラパミルを点滴で使用された患者さんのうち、3日以内に内科外来を受診し心電図検査を施行されている方

3. 研究の対象期間

2013年4月1日～2018年2月28日

4. 研究の概要

心房細動の患者数は年々増加しており、当院でも発作性心房細動による動悸を主訴に多くの患者が日々ERを受診し、再発のために受診を繰り返す患者も多い。心房細動は慢性進行性の病態であり、ER受診時は「発作性」であるが、やがて持続性となり永続性の心房細動に移行するため、発作の再発予防は心房細動治療において重要な課題の一つである。発作性心房細動に対するレートコントロールとして最頻用される薬の一つにベラパミル（ワソラン）が挙げられる。電氣的、薬物学的除細動とは異なり非循環器専門医にも使用しやすい薬ではあるが、その陰性変力作用によって血圧低下や心不全といった有害事象が生じる可能性があるため、使用に際しては十分に注意が必要である。そこで本研究では静注でのベラパミル使用後の発作性心房細動の再発因子、ERでの新規処方の有無によって発作の再発が予防できるか、またベラパミルによる有害事象について検討する。

5. 研究実施予定期間

2018年3月21日～2018年4月30日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：研究対象者背景：患者識別コード、年齢、性別、既往歴、来院時バイタルサイン

血液学的検査：Hb、WBC

血液生化学的検査：CRP、CPK、CK-MB、トロポニンI、BNP、Cre、eGFR

画像検査：心臓超音波でのEF、LAD、胸部レントゲン上のCTR

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・研究責任者：診療局 矢島 琴音
- ・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)